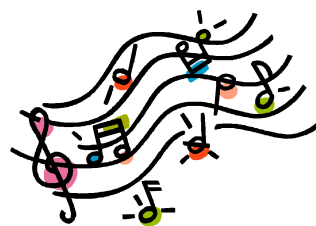


音楽科学習法

1. 音楽科の特性

音楽科は、表現（歌唱・器楽・創作）や鑑賞の幅広い活動を通して、豊かな感性や情操を養っていく教科です。美しい音や旋律を感受する力、ともに音楽を奏でることにより感動を共有するやわらかな感性などを育てることが「生きる力」につながっていきます。

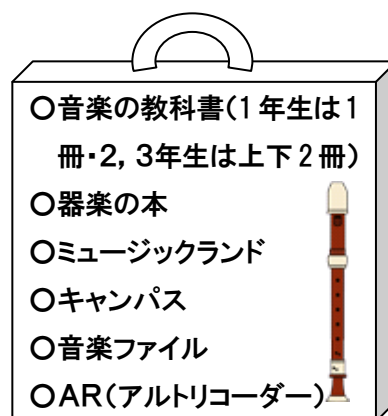


2. 学校での授業の受け方

(1) 準備物について

音楽は、音楽室で行っています。準備をしてチャイムと同時に授業がスタートできるようにしましょう。また、音楽セットを入れるためのカバンを用意し、各自で保管しています。筆記用具も使います。

アルトリコーダーは、小学校で使っていたソプラノリコーダーより少し大きめで、低い音程の楽器です。みんな初めてなので、リコーダーが苦手な人もチャレンジしてみましょう。楽しみながら、みんなでアンサンブルしたいですね。毎時間、忘れないように持ってきてください。



(2) 学習活動について

音楽表現するためには、技術や知識理解の他、思考、判断する力が必要になります。また、思いを分かち合う活動を通してコミュニケーション力を養います。コミュニケーションするためには、「話す・聞く・読む・書く」といった言語活動が重要です。音楽科でも、言語やコミュニケーション力の育成を図ります。

3. 家庭学習

学習で得た音楽経験を自分の生活の中に生かしてほしいです。

♪音楽を表現（歌唱、器楽、創作、鑑賞）するとき、音楽を形づくっている要素をかかわらせて表現してみましょう。

♪楽器（AR、箏を授業では使います。）に親しみましょう。

♪世代を超え、世界を広げ、多様な音楽に触れましょう。

♪音楽で共感し合える仲間をつくりましょう！